

松くい虫防除のお知らせ

マツノマダラカミキリ成虫の発生時期

松くい虫被害によって枯れたクロマツ



松くい虫とは ▶▶

アカマツやクロマツを枯らす「松くい虫被害」は、正式には「マツ材線虫病による被害」といいます。このマツ材線虫病は、「マツノマダラカミキリ」と「マツノザイセンチュウ」によって引き起こされます。



<https://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/seibut/bcg/index.html>

マツノマダラカミキリ マツノザイセンチュウ (♂)

表. 近年のマツノマダラカミキリ発生日

年	発生初日	発生最盛期	最終発生日
平成26年	5/26	6/9	7/10
平成27年	5/22	6/4	7/1
平成28年	5/28	6/10	6/30
平成29年	5/30	6/12	6/26
平成30年	6/3	6/20	7/2
令和1年	5/24	6/12	7/1
令和2年	6/1	6/19	7/2
令和3年	5/27	6/16	7/5
令和4年	5/24	6/16	7/11
令和5年	6/1	6/22	7/5
令和6年	5/31		

※総合グリーンセンター
敷地内の野外網室での
調査結果

令和6年は5月31日が
発生初日です。

マツを枯らす主犯は、体長1mmにも満たないマツノザイセンチュウですが、マツノザイセンチュウは、自分でマツからマツへと移動することができません。マツを枯らしたあと、次のマツに移動するときにマツノザイセンチュウを運んでいるのが、マツノマダラカミキリです。

マツ材線虫病の伝播を防ぐための方法のひとつに、健全なマツに薬剤を散布して、飛来したマツノマダラカミキリを殺虫する方法があります。

マツノマダラカミキリは、福井県では5月下旬から6月上旬頃に枯れたマツの中から成虫となってでてきます(表)。したがって、この時期にあわせて薬剤を散布する必要があります。

★薬剤の散布は、マツノマダラカミキリ成虫の発生初期および発生最盛期に行うのが最も良い時期です。

★なお、薬剤の使用に当たっては、使用回数・使用量など薬剤の容器に記載されている注意事項を読み、必ず厳守してください。

お問い合わせ ▶▶

福井県総合グリーンセンター緑の相談所(TEL0776-67-0003)
または林業試験部(TEL0776-43-6502)まで